

温泉の湧出に感謝を込めて

十又峡温泉では昭和32年の温泉湧出に感謝を込めて、12月6日・7日の2日間「温泉供養祭・感謝祭」を開きました。午後7時過ぎ、松明を先頭に温泉街を練り歩いた天狗・山伏行列が十又峡イベント広場に登場。大勢の来場者が一斉にカヌエを構えました。行列は、天狗が松明から会場内の明りに火を灯して無事に終了し、感謝祭はスタートしました。ステージでは、赤石太鼓や中部電力アマチュアバンドの演奏、カ目唄たちによる丸太切り競争などで盛り上がり、来場者から大きな拍手が送られました。

会場内には、猪鍋、熊鍋、カニ鍋、鹿鍋、そばなどの味覚が並び、来場者の舌を楽しませました。催しの最後には、温泉の湧出に感謝の気持ちを含めた餅つきが実施され、できあがった餅は来場者にふるまわれました。

STORY

広報かわねほんちゅう

2010

1

No.51

